

平成21年度〔第1四半期〕随意契約の結果（500万円以上の物品、委託、工事）

琵琶湖環境部

(注) 1、2の説明

表頭欄の「根拠法令」(1)は、随意契約ができる場合について規定している地方自治法施行令第167条の2第1項の1号から9号のうち該当する号を記入し、2号の場合(性質又は目的が競争入札に適しないもの)については、「適用類型」(2)に厳格な運用を図るために県が作成した7類型のうち該当するものを記入しています。

契約担当組織の名称	事業名	契約内容	契約締結日	契約の相手方	契約金額(円)	随意契約とした具体的理由	根拠法令 1	適用類型 2
東近江環境・総合事務所環境課	自然公園施設管理委託	自然公園施設維持管理業務(湖岸緑地岡山園地、同西の湖園地、長命寺周遊基地)	平成21年4月1日	近江八幡市長	5,351,000	自然公園施設周辺における草刈、清掃等を地元環境整備作業に合わせ実施する必要があり、地域の事情に精通している地元市に委託することが最も効果的であるため。	2号	2
湖北環境・総合事務所環境課	自然公園施設管理委託	自然公園施設管理委託	平成21年4月1日	西浅井町	8,964,000	各地に点在することから、一事業体が一体的に管理することは難しいため、地域の事情に精通している地元市に委託することが最も効果的である。	2号	2
高島環境・総合事務所環境課	自然公園施設管理委託	自然公園施設の施設維持管理業務、公園施設管理業務	平成21年4月1日	高島市	16,578,000	自然公園施設は、各地に点在することから一事業体が一体的に管理することは難しく、地域の事情に精通している地元市委託することがもっとも効果的であるため	2号	2
下水道課	琵琶湖流域下水道の実施設計の作成委託	琵琶湖流域下水道実施設計作成	平成21年5月26日	日本下水道事業団	130,000,000	下水処理場建設事業量が変動する中で、職員配置体制の効率性を図るため、唯一の官業代行機関である下水道事業団と随意契約を行う。	2号	3イ
下水道課	琵琶湖流域下水道の実施設計の作成委託	琵琶湖流域下水道実施設計作成	平成21年6月5日	日本下水道事業団	10,000,000	下水処理場建設事業量が変動する中で、職員配置体制の効率性を図るため、唯一の官業代行機関である下水道事業団と随意契約を行う。	2号	3イ
下水道課	琵琶湖流域下水道の実施設計の作成委託	琵琶湖流域下水道実施設計作成	平成21年6月5日	日本下水道事業団	65,000,000	下水処理場建設事業量が変動する中で、職員配置体制の効率性を図るため、唯一の官業代行機関である下水道事業団と随意契約を行う。	2号	3イ
下水道課	下水道用設計積算データ作成業務委託	下水道用設計積算データ作成	平成21年4月23日	富二設計コンサルティング(株)	7,770,000	積算システムの特許・使用承諾を有する者が限られるため	2号	3イ
湖南中部流域下水道事務所	琵琶湖流域下水道山寺川市街地排水浄化施設維持管理業務委託	市街地排水浄化施設の維持管理業務	平成21年4月1日	草津市長	11,650,000	計画段階より草津市が維持管理を行うことで合意しており、協定書にも記載してあるため。	2号	2
環境政策課	琵琶湖環境科学研究センター調査船運航保守管理委託料	調査船の運航および保守管理業務	平成21年4月1日	琵琶湖汽船(株)	40,394,250	緊急出航にも対応でき、琵琶湖全域の熟知、迅速なサンプル運搬および荒天時の緊急避難について適切な運航ができる唯一の者であるため。	2号	3イ

契約担当組織の名称	事業名	契約内容	契約締結日	契約の相手方	契約金額(円)	随意契約とした具体的理由	根拠法令 1	適用類型 2
環境政策課	地球温暖化防止活動推進センター活動支援委託料	地球温暖化対策推進法に基づき、滋賀県地球温暖化防止活動推進センターに指定した(財)淡海環境保全財団に対する滋賀県地球温暖化防止活動推進センターの活動に係る事業	平成21年4月1日	(財)淡海環境保全財団	6,200,000	温暖化防止に関する取組を行う機関としての実績、経験、ノウハウを有しており、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき知事が温暖化防止活動推進センターとして指定した県内唯一の団体であるため。	2号	1
琵琶湖環境科学研究センター	機械警備業務委託	庁舎の機械警備	平成21年4月1日	総合警備保障(株)滋賀支社	6,111,000	当センターの機械警備は当該業者のシステムを採用しており、代替性がないため。	2号	3イ
琵琶湖環境科学研究センター	環境情報システム運用保守業務委託	環境情報システムの運用保守業務	平成21年4月1日	日本電気(株)滋賀支店	7,947,261	本システムを開発し、当該システムの特異性に対応できる唯一の者であるため。	2号	3イ
琵琶湖環境科学研究センター	琵琶湖流域水物質循環モデル検証・改良業務委託	琵琶湖流域水物質循環モデル検証・改良業務	平成21年5月15日	パシフィックコンサルタンツ(株)滋賀事務所	5,859,000	本業務は、過去に当該者に委託して構築したモデルを検証、改良しようとするものである。難分解性有機物の解析などを組み込んだモデルは他に例はなく、モデルのソースコードに係る著作権は開発者である当該者が有しており、またモデルのソースコードは公開されていない。よって当該者以外がモデルの検証、改良を行うことは不可能であり、代替性がない。	2号	3イ
琵琶湖博物館	常設展示維持管理業務委託	常設展示物の維持管理	平成21年4月1日	(株)乃村工藝社	5,638,500	常設展示の設計・製作に実績があり、当該展示品の維持管理(修繕、劣化防止等)に関するノウハウについて高い知識と技術を有する唯一の者であるため。	2号	3イ
琵琶湖博物館	情報システム管理業務委託	博物館情報システムの管理業務	平成21年4月1日	(株)CRCシステムズ	17,495,100	本システムを開発し、システムの著作権を有する唯一の者であるため	2号	3イ
琵琶湖博物館	水族飼育管理業務委託	水族の飼育管理業務	平成21年4月1日	(株)環境総合テクノス	61,110,000	水族飼育管理業務を請け負うことができる近畿唯一の専門業者であるため	2号	3イ
循環社会推進課	浄化槽法定11条検査促進事業委託	新たな検査方式の円滑な導入のためのデータ整理、関係機関との連絡等	平成21年4月1日	(社)滋賀県生活環境事業協会	5,664,000	県内の浄化槽管理者の情報を保有している唯一の機関、また、浄化槽法に基づく法定検査を実施できる唯一の機関である。	2号	3イ
自然環境保全課	水草刈取り業務委託	琵琶湖水草刈取り業務等	平成21年6月10日	(財)淡海環境保全財団	49,186,000	当財団は、平成5年度から琵琶湖の水草刈取業務に従事し、漁業組合との調整、処分地の確保、刈取手法の開発など、当該業務に関する経験やノウハウを蓄積してきており、当財団以上に業務の遂行に必要な経験やノウハウを有する者は他にない。	2号	3イ

契約担当組織の名称	事業名	契約内容	契約締結日	契約の相手方	契約金額(円)	随意契約とした具体的理由	根拠法令 1	適用類型 2
自然環境保全課	ヨシ群落造成事業委託	ヨシ群落造成事業	平成21年6月12日	(財)淡海環境保全財団	15,000,000	県の環境保全に関する広範な事業を実施する公益法人であり、平成5年度よりヨシ群落造成事業に従事しているため、事業を実施する上で必要なヨシの生態や生育環境を熟知しており、当財団以上に実績、経験を有する者はいない。また造成事業に使用するヨシ苗の育苗方法の特許を有しており、他に代替しうる者がいない。	2号	3イ
森林政策課	伐採可能森林調査・情報集積事業委託	伐期を迎えている森林及び伐採が可能な森林の調査、調査地の情報集積	平成21年4月15日	滋賀県森林組合連合会	21,800,000	県内全域の森林調査であり、県内を把握しており、県内の森林に精通している唯一の機関である。よって1者見積とした。	2号	3イ
森林政策課	県産木材販路拡大推進事業委託	県産木材の安定供給に向けて県内外への販路確保および拡大に向けて流通機能の強化を図る。	平成21年4月15日	滋賀県森林組合連合会	9,700,000	県産木材の流通、特に供給体制においては各森林組合を統括している滋賀県森林組合連合会において他にない。よって1者見積とする。	2号	3イ
森林センター	琵琶湖の水源を守る森林づくりの検討委託	森林整備に伴う水量・水質等の変化を把握し地質に対応した森林施策を検討すること及び降水や渓流水に含まれる多種類の元素が下流域に与える影響を調査検討すること	平成21年4月1日	森林と琵琶湖研究会	8,400,000	本業務の遂行には精度の高い調査、分析技術とともにそれを総合的に解析する専門的知識が必要であるが、その最先端の技術及び知識を有しているのは「森林と琵琶湖研究会」以外になく他に代替しうる者はない。	2号	3イ
琵琶湖再生課	外来魚回収業務委託	外来魚回収	平成21年4月1日	特定非営利活動法人AJA	5,640,000	外来魚の回収・堆肥化を適法に行うための能力・資格を有し、堆肥化した外来魚を耕作肥料として利用することが担保されている者で、かつ障害者の雇用が確保されている者。	3号	